

特273

473

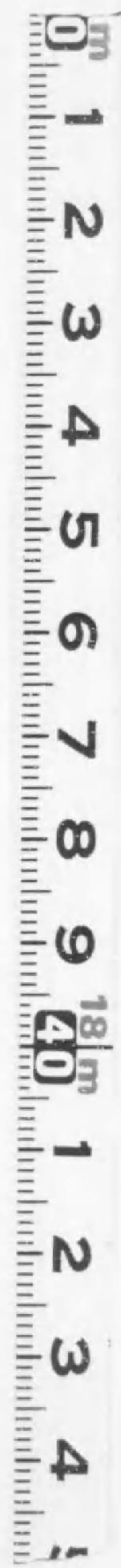
動運育教人成の逸獨

局務學業實省部文



トツレフンバ育教會社
輯六十第

人法團財
會協育教會社



始



目次

一、成人教育の發端……………三
 一八七一年より十九世紀の末年まで、二十世紀の初より歐洲大戰まで、歐洲大戰より現在まで

二、政府の指導獎勵……………八
 一九一九年二月文部省告示一九一九年三月文部省告示一九二〇年の文部省の告示

三、民衆大學とは何ぞや……………三
 民衆大學の使命、二つの異つた主張と特色

四、民衆大學の實例……………二〇
 總説、ベルリン、フライベルグ、イエーナ、サクソニー、フランクフルト、ダルムシュタット、ウンデンベルグ等の民衆大學

五、民衆大學園……………二七

六、統 計……………三三
 本篇は Newer Adult Education in Germany; The World Association For Adult Education Bulletin X VIII に於る



獨逸の成人教育運動

特にその民衆大學に就て

文部省實業學務局

一 成人教育の發端

獨逸に於ける成人教育の發端は今次の革命に在りと云ふべく、此意味に於て獨逸の成人教育史上一九一八年十一月十一日は記念すべき日と云はなければならぬ。

ドクトル、フォン、エーベルヒ (von Ebeling) の云ふところに由れば、獨逸に於ける成人教育の發達を大體左の三期に分つて考へることが出来る。

一八七一年より十九世紀の末年まで

此當時國家は、男子公民に對し一律に選舉權を與へたので、隨つて之等公民をして夫々完全に公民としての責務を盡し得るやう、適當なる教育を與へることの必要に迫られつつあつた。加ふるに當時社會主義の擡頭著しく、急速にその根底を築き上げつつあつたので、一時はビスマルクの鐵血政策の下に粉碎し抑壓したもの、何としても半面有力なる成人教育に由て社會主義運動に對抗するの必要が生じ、茲に「知識弘布」の方法を採り獨逸の卓抜なる學問に依て得られた結果を、出來得る限り簡易平明に解説し、最大多數の人に提示してその理解を擴めて行かうと云ふ努力が試みられたのである。

斯くて非常に廣汎なる範圍に涉つて民衆教育施設が行はれ、地方の中心たる大小の都市には講演會が催され、又その地方には巡回講演を行ふと云ふ様な次第であつた。

更に一八七八年には、社會のあらゆる問題に關して簡易な知識を與へるために、伯林にフンボルト學院が設けられ、盛に講演が催されて、多數の中産階級の人士を吸引した。併し聽講料

等は眞の名義上の少額であつたにも拘らず、勞働者の出席する者は極めて少數で、僅々全員の二割を出でなかつた。又小都會には公衆圖書館が設けられ、その町を中心とする農村に對し秩序正しくその圖書を貸出して一般公衆に讀書を奨勵する等、さまざまな教育的事業が行はれたものである。それに知識を與へるにしても科學と技術、知識と實際の熟達と云ふ風に、抽象に陥らず、實際にのみ囚はれず、その道を得た方法に出でたので、爲めに民衆の知見を開拓する上に非常な効果を擧げ、學問尊重の風鬱勃として起るに到つた。

二十世紀の初より歐洲大戰まで

これを第二期とする。此期にも學問尊重の思潮を涵養することに於て多大な効果を擧げた事は前時期同様であるが、時代は寧ろ更に進んで居た。學問そのものに執着する事が少くなつて「民衆のための藝術」の聲が揚つた。「人生の梯子を登らんが爲めの道具としての學問」では最早や満足することが出来なくなつて、藝術に生活を見出して行かうとする様になつて來た。何故に藝術が人生に寄與し得る効果を研究しないのか」と云ふ叫びが繰返された。其結果幾多の

協會が組織せられた。その主なるものには、

中央民衆福祉局

ドレスデン、ヂュラーラー組合

ライン、マイン組合

南獨逸美術民衆自由組合

等がある。斯くて藝術家や美術に關する教授等は、勞働者と相携へて博物館へ赴き美術に關する指導を加へ、或は劇場に通俗夜間講演を催し、又は幻燈で藝術に關する講演を行つたり、様々施設するところがあつたものである。

これよりさき一八八九年、獨逸の學者が相集つて大學聯盟を組織して大學の教科を平易に民衆に教へるための所謂大學擴張運動を行ひ、中央民衆福祉局の支援を受くることとなつた。これは各大學自身進んで民衆教育の衝に立つことを好まなかつたので學者聯盟を以て之を行ふこととした譯である。斯くて獨逸にも英國に於ける大學擴張運動と同様な組織が現はれ、その結果に於て兩國相並行して進む状態になつたのである。

歐洲大戦争の勃發と共に成人教育運動は——或意味に於て——非常に發展した。尤もこれは何等精神的教育的目的に立つものではなく、民間に戦争に關する宣傳をなし、更に又獨逸の文化を讚美して國民の士氣を鼓舞せんがためではあつたが、要するに朝野を擧げて國民の啓發に盡力した結果、事實に於て成人教育運動を促進したことは著しきものがあつた。

歐洲大戦より現在まで

これを第三期とする。その特色は生彩ある精神的運動を惹起したることに在る。この運動は今尙ほ實驗の時代に屬するから、未だその効果如何に就て語るべき域には達しては居ない。さりながらこの運動は特別な精神運動であるが爲めに、從來の如く強ちに學術や教育に關する事柄にのみ因はれず、社會の他の方面の人乃至事實を持込んで、こゝに新なる人生を考へるやうになつたもので、獨逸の成人教育は此第三期に入つて全然その面目を改めた。否、寧ろここに始まつたと云ふのが本當であらう。吾人が本冊子の冒頭に於て獨逸の成人教育の發端が歐洲大戦後に在りと云つたのは蓋し此意味に外ならぬのである。

二 政府の指導奨励

社會に於ける這般の氣運と共に、國家も亦進んで此事業に力を入れ、プロシヤ政府は文部省内に新に成人教育課を設け、その他サクソン、ヘッセン、チウーリンゲン、ハンブルグ等にも亦同様な機關が設けられた。此際特に注意すべき事は、成人教育運動に對する政府の態度である。元來獨逸に於ては教育に關する事項は全部政府の嚴重な統制の下に在つたのであるが、新に設けられた機關の職能とするところは全然監督官廳としての意味を離れて

- 一、成人教育上の民間の努力を助成し
- 二、成人教育に關する材料を蒐集し
- 三、報告を發し
- 四、指導教師間の協力を助成し
- 五、二週間の間に一般的な問題を實質的に學習する様な企を奨励す

と云ふ様に改められた。今ここにプロシヤ政府の訓令を擧げて、その如何なる方針に出でつゝあるかを示さうと思ふ。

一、一九一九年二月文部省告示(抄)

現時の危急は國民各層の協同作業を痛切に要求してゐる。(中略)從來一般民衆と沒交渉となつてゐた科學を、國民全般に傳へるための民衆大學 (Volkshochschule) は、都市及び地方に擴まり、國民の各階級の精神的連鎖を作り、且つ協同作業に對する理解を振興することに役立つねばならぬ。プロシヤ文部省は民衆大學運動に適當の援助を與へんと欲して居るが、國家は民衆大學を統制しようとは思はない、またこの運動は統制すべきものではない。しかし國家は民衆大學の發達を計ることを、重要な任務と見るし又見なければならぬ。故に文部省は民衆大學運動の作業及び練習のために、あらゆる國有の教場並に設備を政府の學校及び大學の秩序ある經營に差支なき限り、無料で開放する。下略。

これが成人教育に對する國家的援助の第一歩であつた。政府は教室は素より燈火、暖房迄も多くの場合無料で貸與し奨励に努めた。

二、一九一九年三月文部省告示(抜萃)

一、講義の後には須らく討論を行ふべく、討論を行ふことに依て總ての學習の本質的根柢が築き上げらるゝものである。而してその學習に關係した人々の間に個人的接觸の機會を作り相互の間に密接なる關係が成立することとなる。

學生はその所屬する民衆大學を管理すべく代表者を撰出すべきである。けだし學校を斯くして管理する事に依て、民衆大學の事業は確たる根柢を得て、圓滿なる發達を成し得るものである。

二、民衆大學は須らく勞働者と學問的素養ある人々の協力團體たるべし。

三、價值のない否寧ろ有害な一知半解な知識を傳播する危險は慎んで避けなければならぬ。右の告示は更に各大學に對し、その學内より民衆大學に助言を與ふべき人を推薦すべきことを勸説し、地方自治體には努めて財的援助を與ふべきことを奨勵して居る。

三、一九二〇年文部省告示(抜萃)

歐洲大戰争前に行はれた大學擴張講演は、多くの場合民衆大學と呼稱せられ、これを以て民

衆教育のための施設のモデルとして用ゐられて居たが、名稱は兎に角として、當時未だ今日の民衆大學の眞の職能が行はれて居た譯ではなく、その眞の使命たる「民衆に新しき精神的要望を喚起する」と云ふ様な仕事をして居た譯ではなかつたのである。

此「新なる精神的要望を喚起する」事を目的とする民衆大學は何れも多數の群衆を惹きつけることを能としない……所謂民衆大學は未だ共同研究團體としての觀念が十分に行はれて居ない……堅實なる研鑽を進め行くことに依て知識を發見すると云ふ域には到達し得ずして、未だ知識の傳播を事としつゝある。これは決して民衆大學の目的とするところではないのである……假令數は少くとも堅固なる知識を與へるのが本旨である……此の外に成人教育上の仕事は澤山ある。何れも民衆大學と同じ位重要な位置にある。

更に次に掲ぐるものは文部省の發布したる「成人教育に關する規定」の抜萃である。

民衆大學は補習學校ではない。職業學校でもない。又從來行はれ來つた通俗講演的なものでもなければ、慰樂を與へる機關でもない。その終局の目的とするところは知識や教材の媒介ではなく、思索力及び判斷力の養成であり、従つて知識材料の洗練である。斯る目的を達す

るためには普通一般的な講演だけではいけない、學生と指導教師との間に密接な協力が無ければならぬ……而して民衆大學の教授の方法と組織に就ては次の諸事項が必要である。學生は十八歳以下の者ではないけない。

講義の後は常に學生側から問題を持ち出し、それに就て討論を行はなければならぬ。……出来るだけ文章を作る練習をなさしむること

試験制度を廢止すること、何故なれば民衆大學は教育のための教育で、資格を得るための教育ではない。

民衆大學は政黨政派や宗派の道具となつてはならぬ。

一組の生徒数は制限されなければならぬ。一組の生徒数は成る可く三十人以下とすべく、此種の少人數の團體に於てのみ、ポエトリック補導學級は眞に實行せられ得べく、民衆大學の目的を達せらるるであらう。

三 フォルクスホーホシューレ 民衆大學とは何ぞや

戦後の獨逸を風靡した成人教育運動は、民衆大學運動として世人の耳目に著聞するところである。さりながらこれを以て丁抹のフォルクスホーホシューレ國民高等學校の亞流と誤解してはならぬ。勿論丁抹の夫に倣つたものも二三ない譯ではないが、獨逸の民衆大學そのものは本質的に異つて居る。此誤解を避けるために特に民衆大學とか原名通りフォルクスホーホシューレと呼んだ方が妥當である。

民衆大學の使命

獨逸の普通教育組織はフォルクスシューレ（國民學校即ち小學校）とヘーヘレシューレ（中學校）を綜合してできたもので、一般國民は初等教育に止まり、有産階級のみ中學教育を受けるのである。一般國民は斯くて十四歳にして實際生活に入るを常とするのであるが、戦前迄は之等多數の國民に對して何等成人教育上の施設が無かつた。獨逸の如き教育に盡力して已まざる國に於て、斯の如き状態に在つたことは寧ろ驚くべきことと云はなければならぬ。革命と共に起つた民衆大學運動は、之等初等教育以上の教育を受けざる大多數の國民に大學教育を施さんとするものである。（即ち有産階級は中學校を経て大學に行く聯絡がついて居るが、無産階級

には其の便宜がないので、斯ういふ施設によつて出来るだけ民衆に教育の機会を與へんと欲するものである。

此民衆大學（フォルクスホーシューレ）なる名稱が社會の興味を惹き、その運動が熾烈なるに伴れ、民衆大學の名を冠するもの簇出し、程度、品質の如何を問はざる状態となつた。

元來フォルクスホーシューレは、知識階級の篤志家が教化を受くる機会を奪はれた人々に對し、教化を與へたい希望を以て始めた運動である。即ち相反する傾向に進む二種類の階級が協力して出来た産物である。此點に於て労働者だけの發奮努力に由て出来上つた英國の労働者教育協會のチュートリアル・クラス（補導學級）とはその趣を異にするものがある。

尤も獨逸にも純粹な労働階級自身の教育運動がない譯ではないが、その發達は異つた系統に屬し、經濟其他の學科を授けて労働者の實際的要求を充たさんとして起つたものである。之等の學校は民衆大學と實際の労働組合學校（トイムニオン・スクール）の間の連鎖をなす働きをして居る。

民衆大學は出来るだけ多數の生徒を吸引しようと希望して居る。これは社會のあらゆる階級を包括することを本來の精神とするからである。

革命の結果、多數の中産階級の人々は貧民の群に入り、之等の人々は、此民衆大學に學んで自家の知識慾を満足することを悦んで居る。彼等はその財力を失つて劇場やコンサートに出入することが出来なくなつて、特にその知識慾が旺盛になり、民衆大學に入る者が多くなつた。窮極幸福を求めんとする一念の展開して茲に至れるものに外ならぬ。彼等は革命前に立派な教育を受けたとは云ふもののそれは要するに自家の知識慾を満足させんがための知識で、皮相なものであつた。民衆大學の事業は彼等の見解を廣からしめ、眞の人生の價値の發見に裨益するところ多大なものがあつた。

次に民衆大學の組織であるが、各大學には夫々主事が居る、主事は學術的方面に關し責任を負ひ、更に指導教師と生徒と協議して出来た課程のプログラムを作成する責任がある。

民衆大學の仕事は國家、自治體、又は地方官憲の補助を受けることを例とするが、一二の場合の外は僅なものである。主事も指導教師も共にその俸給は良くない。彼等は唯自己の信念に立つて仕事をして居るので、他に何も考へない有様である。是に利もあり弊もあるやうである。獨逸の民衆大學の教師の素質は確に優秀なものであるが、その待遇が菲薄なため當然他に

生活の資を求めなければならぬ。随つて彼等は疲れ切つて教壇に立たねばならず夜間部の教師等は負擔過重で、その時間だけを満足に勤め了せる者がないと云ふ有様である。

獨逸の民衆大學は多く夜間に行はれる。革命後の獨逸の各都市は夫々自ら成人教育團體を組織し、夜間に行つて居る。それで文書の上から見ると學校の名が堂々と連ねられ、その隆昌驚嘆に値するものがあるが幾ら革命の効とは云へ遽かに斯の如きを得る譯はないので、無暗に感心するには當らない。併し革命が偉大なる動因と成て茲に新しき教育の種子が下され、それが漸時、徐々に根強く發達して居ることは事實である。

二つの異つた主張と特色

獨逸の民衆大學には所謂民衆大學ポピュラースタッフカレッジと英國の補導學級サテライトカレッジ式の民衆大學との二種類がある。この二種類の民衆大學は各特色をもつて自己の主張を高調して居るが、兩者の主張を紹介すれば大體次の如くである。

【其一】は學習の大切なことを主張し、何れの方面にも偏するところなき人文的修養の必要

を力説し、知識乃至修養を得るには教師と生徒と協力して求める方法に出づべきことを主張し教師と生徒が互に協力共同して判斷力、独自の意見、深き洞察への道を發見すること、これが即ち教育であり、而して學生の心内に内在する本來の知識を開拓誘發し得べきものが天稟の教師であるとされて居る。今のところ民衆大學は一般民衆に學習の機關を與へ、刻苦精勵して研究して始めて得らる、教養の結果の或ものを發見する様指導することを以て満足せんとするのである。理想的な學習法としては圓卓式で、指導教師の教ふる知識を唯受け入れると云ふことではなく、その與へられたる知識が仔細に精査せられ、討論されて理解せらるべきことで、之が即ち協同研究コオペラティブ・リサーチである。少數の人が互に啓發理解すると云ふ主意の下に實質的な學習を試みることに依つて眞の創見が開發せられるのである。

【其二】民衆大學として別方面の運動を代表する人々は所謂學習的研究だけでは極少數の人を教育し得るにすぎない。社會全體の福祉のために大多數の人々に對し自己開發の機會を與へなければならぬ。協同研究の方法では逆も成人勞働者の多數に及ぶことが出来ない。

近代の特に産業の獨逸に於ては、勞働者を單なる産業機械にしてしまつた。否寧ろ機械の一

部なる車輪の齒にしてしまつて労働者をしてその自覺を失はせてしまつた。労働者をしてその仕事と人生とを聯合して考へることが出来ない様にならしめた結果、彼等の生活は總ての色彩を失ひ、彼等は近代文化の産物たる無意味な享樂に其生活苦、労働苦を忘れんとして居る。彼等をしてその人生を恢復せしめることが喫緊の要務でなければならぬ。それには直接彼等内心の琴線に觸れることである。即ちフォルクスホーホシュユレをレーベンスシュユレ（人生の學校）たらしめることだ。民衆大學の教育をして日々の切なる生活に觸れしめることだ。人生の學校たる民衆大學は社會生活に靈感を吹き込む中樞でなければならぬ。民衆大學の教育は須らく人の精神を教化して、建設的に創造的に活躍せしめ、近代文化の全體的發展の道に添ふ様に指導されなければならぬ。これがためには先づ労働者に「人」としての自覺を與へなければならぬ。次に彼等の要求する實際的な知識を與へなければならぬ。斯くして彼等はその生活に即したる實際的の興味に惹きつけられて自らの教育の道に進むやう導かれなければならぬ。斯んな風で此第二の主張に立つ民衆大學には「健康呼吸法」とか、「嬰兒看護法」と云ふ様な科目があつて所謂民衆大學の名稱にふさはしからぬものもある。

以上の如く二種類の民衆大學があつて互に自家の立場を主張し、知的教養を主とする第一種のものとは第二種のもの、感傷的理想を嘲笑し、後者は又前者の知的理想は結局夢である、單なる空想の希望である。知的な教養を施したところで眞の常識が養ひ得らるゝ譯がないと云つて非難して居る。然し此兩者が各その最善を盡せば、互に極めて接近したものととなり、之に反し徒らに自家主張を事とすれば非常に隔つたものと成るのである。

一派の人に云はせれば、民衆大學は學校である。學習をなさしめ、それがその人の心性を開拓する様指導する學校である。宗教を説く所でもなく、我々の生存の諸問題に好事的解釋を加へる所でもないのである。又他の一派の人々に言はせると、民衆大學は成人の爲めの學校である。教育の力に依つて文明の全體的改造を成就することを目的とすると云ふのである。要之フォルクスホーホシュユレは、頑固な時間の束縛の下に諸種の問題に關する解答を獲んと努力する若者を、惹き付ける知識本位の學校ではない。その主體とするところは三十歳より五十歳に至る労働者である。落ち付いた心を持って組織的な學習を遂げ知的に啓發する所あらんとする成人である。如何なる種類たるを問はずすべて民衆大學の目的とすることは文化的教育である。

決して技術上の教育ではなく、準備的教育ではなく、功利的教育でもない。労働團體等で技術的教育を施しつつあるものもないことはないが、之等は決して民衆大學の分野に属すべきものではない。民衆大學の教育は教育のための教育である。何等の政黨政派に關係なく、眞に知識に渴へて求め來る者に訴へることを本意とする。

四 民衆大學の實例

總 說

廣い意味で民衆大學は四種に分けることが出来る。その一、二に付ては既に述べた通りであるが、更に二種類を考へることが出来る。重複ながら之を列挙すれば、

一、極めて知的傾向の盛んなもので、大都市の民衆大學は主としてこれに屬す。ドレスデン、ベルリン、ライプツヒ、ダルムシュタット、フライブルグ、スツットガルト、コローンその他に在るもの。

二、ロマンチカルなもの。チューリンゲンの南部、中部に在るもの、サクソニーの農村、レム

シヤイド、キヤツセル、ゲツチンゲン等邊鄙の地に在るもの。

三、特に或種の性質——宗教的、政治的、愛國的——等を以て特に他と異なる色彩を有するもの、ビーレフェルトの基督教民衆大學、ミューニツヒのカソリック・レオ・ハウス等。その他ドレスデンのビズマーク民衆大學は極端に愛國的なものであり、ハンブルグのフィヒテ民衆大學も亦愛國的のものであるが、前者ほど極端なものではない。

四、多義的なもの、代表的のものとしてはエツセンの民衆大學。

ベルリン民衆大學

一九一八年突如として起つた革命は相當多數の失業者を發生せしめた。そこで此失業に基く餘暇を善用してその教育を高くして行かうと云ふ目的で學級を形ることとなつた。而て革命の結果社會上の位置に大なる動搖を生じ、労働者の代表者が大統領となり、婦人にまで選舉權被選舉權が擴張せられた。斯くて労働者とその新たな政治上の責任を果たさんために、己自ら大に教育せらるる事の必要を痛感し、知識階級の者は之が援助を志した。知識階級内には無産者

が政權を取つた結果、權力に任せて無産者が如何なる無謀な舉に出づるやも知れぬと云ふ杞憂もあり、一には又社會革命に失意の境遇に陥り、社會的に望を失つた結果は自ら進んで精神的事業に没頭して慰むるところあらんとしたものである。之等の事情から學級を組織した人々は茲に正規な民衆大學を組織して一定の方針を以て進まんと決心するに至つたのである。

ベルリン民衆大學は一九二〇年一月の創立であるが、これは労働者と大學の握手に成り、その經費は伯林市の支持するところである。ベルリン民衆大學は一個の協會組織であつて、その會員は、

労働者教育協會團體の代表者

その他の労働者團體の代表者

伯林に於ける大學、高等工業學校の代表者

學生側の代表者

指導教師側の代表者

成人教育に密接な關係ある個人

であり、之を統制する機關としては

經營機關

會員の評議會

があり、經營機關としては、

伯林市の代表者

労働者側の代表者

學生側の代表者

大學より來る指導教師の代表者

會員全體の中より選舉されたる議長並に事務長

より成立す。之等經營機關の事業を監督するために各會期に一回總會が催され、會員より提出する議案を討議する。更に伯林民衆大學はその事業の目的として

獨立にして社會の利益と調和する人格を養成す

との綱領を掲げ、その方法として

學問的研究の方法に由るのであるが、指導教師並に學生の素養に基き様々異つた方法に出づるのである。然し少數者よりなる團體の眞面目な研究、即ち協フルバイフグアインシュタツ同作業の本質的價値を發揮すること。

を希望しつゝある。これを英國の補導學級と比較するにその學習の範圍、學生の結合状態に於ては同一であるが、その組織の點が少しく異なり、又發達の過程は英國に於ては勞働者の自發的努力に基き、獨逸は知識階級の作つたものであると云ふ點で異つて居る。

その發達の歴史

伯林民衆大學の今日の發達を見るまでには可なりの紆餘曲折があつた。

第一期。初め柏林市中に二十中樞、一中樞に十學級を設くるまでに急速に發展したものである。斯く廣く發展するに伴れ、その學科程度を一樣に高く維持することが困難であつた。加之フムボルト學院其他の舊團體は此の新興の競争者の盛名を嫉視し、盛に之を中傷してケチをつけやうとした。又柏林市が財政難のために民衆大學に對する支持金の増額を拒絶するに至り一時は破産の止むなき状態に陥つたのであるが、能く之を支へて遂に第二期の隆昌を來たす様に

なつたのは、その指導者諸氏の熱心な努力の賜である。

第二期。元來伯林民衆大學はその學科の程度が高く、大學の校風を維持し、何れの階級にも屬せざる知識のための知識を與へ、大學より直ちに民衆へその知識を傳達することを特色として特に大學と勞働者が協力して出來て居たものである。斯る状態であるから若し伯林の民衆大學が失敗すれば獨逸全國の成人教育は一大損失を蒙つたであらう。然るに伯林民衆大學は他の力を借りず獨立維持の出來るやうにその組織を變更した。その第一歩として量より質に重きを置き、又努めて經費の節減を圖り理事の如き無給とする外、一面伯林民衆大學協會を組織し、會員の出資と、生徒の授業料を合せて學校の財源に充てることとした。次に又伯林民衆大學の中樞を三ヶ所だけに限定し、斯くして根柢の鞏固を計つたのである。

學科課程

伯林民衆大學の學科は左の三方面に分たれて居る、

- 一、自然科学（化學、數學、動物學、植物學、天文學）
- 二、哲學、文學（哲學、文學、美術、音樂）

三、社會學（公民科、産業史、社會學等）

之等の學科は夫々地區の住民の品種に従ひ巧に按配せられ、生徒の自由に任してある。飽くまでデモクラチツクなところが民衆大學の特色であつて指導教師と生徒が眞に成人教育事業を達成せんとして協力して努力しつゝある。伯林民衆大學の將來は祝福せらるべきものがあるだらう。伯林にはプロシヤ文部省があり、その成人教育課で社會の成人教育事業に對し色々の助言を與へ、調査を行ふ外、民衆大學の指導教師のために二週間の規則正しき學習を施す。此講習會に於ては會員互に成人教育上の問題、經驗、計劃等を討議する。尙又國內の各縣に二週間の講習會を開き夫々の地方の事情や成人教育の精神を了解せしめる。

フライベルグ民衆大學

フライベルグの民衆大學は最成功したものである。毎夜六時半から九時まで、多くの成人生徒はフライベルグ大學の多くの教室に集り、夫々一人の教師を圍繞して講義を聴くのである。その生徒は男女成人勞働者、學生、店員教師等である。こゝでは何れも皆非常に眞面目に研究

し學科程度も高い。その幹事をやつて居る人は元來勞働階級出身者であるから成人教育に關する手腕は實に堂に入ったものである。校長は大學の老教授で、動物學專攻の人で、成人教育には非常に熱心な人である。内部の空氣は飽く迄でもデモクラチツクでその行政機關には教師も學生も共に參與して居る。學校の經費は大體は自給自足を原則として居るが教師の俸給だけが縣學務課から支出してある。

學科 一九二三年の講演題目は「自然科學と人生」であつて、科目の内容には次の様な項目がある。

- 一、動物生活の歴史
- 二、現代の經濟問題
- 三、數學
- 四、基督の生涯とその教訓
- 五、音樂
- 六、體操

七、演説、文章に由る表出法

●目的 本大學は宗教的にも黨派的にも何等色彩を帯びて居ない。その目的とするところは文化の産物を生活それ自身のものとして獲るところあらんとする人を援助し……成人生徒をしてその人格を高め、同胞並に人類と自己との關係を深からしめるために、その人に備はる力を最も善く發揮せしめ……同胞愛の精神を涵養し……且つ眞理に對する精神的連帶の信念を與へんがためである。

●方法 一級凡三十人位として所謂協同作業をなさしむ。夏季には野外遠足を試み、民謡、舞踊、野外劇等を行ひ本大學の特色とされてゐる。

イエーナ民衆大學

イエーナ、ワイマールと云へば一種ロマンチックな感想を催すほど古來文化的傳統の熾な處である。此のロマンチックな町にまた教化の花を開くことゝなつた。

イエーナにマツク・ランバーチー Muck Lambertyなる人があつて單純生活を鼓吹し、若き

男女の渴仰を一身に蒐めたものである。「自然に歸れ、世は罪惡に充ちつつある。此罪惡の生活を脱ぎ棄て、自然に歸り新なる生活に入れ」と云ふのがその主張であつたが、然し要之一片の理想論にすぎなかつた。然し聽てこれがイエーナの成人教育運動に大なる刺戟を與へたものである。處が産業の盛な北チューリンゲン地方で此青年運動を主體とする成人教育運動とは別趣な運動が起つて、之と分離するに至つた。それは毎日生活の重荷を負ふて働らきつゝある勞働者は、右に擧げた様な青年運動の一方面としての成人教育たる民衆大學と事を偕にすることを欲しなかつたからである。

元來このイエーナに起つた青年運動には青年の健全なる精神的復活の萌芽がある。彼等は自己の行爲に對し飽くまで責任を負はんとし、文化の改造の熱心なる分擔者たることを期し、青年は堅く時代創造者であり、價値の生産者たるべきものとの信念を有つたのである。イエーナに於ける青年運動は如斯性質のものであり、それが偏となつて民衆大學の發展を觀たのであるが、然しその民衆大學そのものが青年運動と云ふ譯ではなく、却てそれに青年運動を採り入れんがために是に青年民衆大學を設けて未だ成人の域に到らざる青年を收容し、眞の民衆

大學の準備の教育を興へることとしたものである。

チューリングデンの成人教育家並にその系統の人々は成人學校にデモクラチツクな仲間と云ふ精神、眞の同僚としての空氣を作つて行くことを第一の目的としたものである。斯くて彼等は英國のW.E.Aの補導學級を眞似るよりは娛樂その他の内容を加へて英國の成人學校に類する方面のものを作り上げて行かうと云ふ傾向を採つたのである。即ち友情の精神こそ之等民衆大學の最顯著なる性質でありその學習をなすに當て最著しき特色をなすに至つたのである。斯くて繼續的に而て細心に學ぶ事に由て、物事に深き洞察力を養つて行かうと企てたところから、却て圓卓式の討論や社交的集會と云ふ様な方面を閑却することとなり、知的方面の開拓よりは寧ろ情的方面の開拓に努める様になつて行つたのである。斯る氣風は青年民衆大學にも影響し、青年民衆大學は一種のコムミュニティー・センター化して行つた。

元來イエーナはゲーテ、シルレル等の如き文豪が住んでその文學的、學術的勞作に従事した小大學都市で、文化的に記念せらるるところ多き土地柄であると同時にツァイス・レンズ工場の所在地で、此ツァイス工場は時代の象徴の如くイエーナの町に巍然として聳えて居る。ツァイ

スの創立者エルンスト・アペーは成人教育の普及に盡力し、一般指導者の俸給を支出し、工場
の利益を職工に分配し、更にイエーナの町の人々にも利益になる様基金を作らんがためにその
利得の一部を割いて之に充てることとした。エルンスト・アペーは幾年か前に死亡したが、そ
の計劃はその遺志通りに進捗し、此大工場と此小さな大學市と融合して一つの教育的中樞とな
つたのである。斯くてツァイスの基金から生れる金はイエーナの民衆大學に寄贈せられ、その
上民衆大學はツァイスの基金で出來た民衆會館を教室及び事務室に使用して居る。

チューリングデンの民衆大學はイエーナの民衆大學圖書館——これはライプツヒのヴォルタ
ー、ホフマンの模範圖書館の式に倣つて設けられたもので、民衆大學の生徒の爲めにリーフレ
ットを發行しつゝある——の支部である。イエーナ本部には民衆大學に關するプログラムを立
てる主事が居つて熱心に盡力して居る。そのプログラムを擧ぐれば、

一、青年民衆大學

これは次の如き協同研究團を包括する

イ、年少成人の心には最高度なる問題を學習する團體、例へば「宗教、文化及社會主義の

「關係」の如き、

ロ、競技、音楽、舞蹈、討論をなす社交團體

二、家事に直接關係ある事項を修める學級

イ、育兒

ロ、保健、衛生

ハ、家庭裝飾

三、一定の仕事をする學生より成る學級

イ、金屬工の學級

ロ、レンズ製造者の學級

ハ、手工學級

二、彫刻師學級

之等はすべてツアイス・レンズ工場に於ける仕事を包括する。

四、哲學

これは哲學を概説し、人生の學を説く、

イ、ニーツツエのツアラトストラ

ロ、ルーテルよりゲーテまで

尤も右に擧たのはプログラムではなく方法としての事項で、一切は監督教師の手腕に由る。

五、詩、獨逸語

六、藝術

イ、音樂

ロ、模像、圖畫

七、産業史及社會學

八、自然科學及數學

九、特殊問題 例へば果實栽培の如き

一〇、語學

イ、英語

ロ、佛語

ハ、西班牙語

次に同大學に於ける諸學級の實況を記述して見やう。學級は次の三種に分かれてゐる。

- 一、年少成人團體
- 二、年長成人男女の團體
- 三、混合團——労働者學生の率が高くして全體の二七パーセントに上る。
- 一、年少成人團體

民衆大學の有様を観るに、極簡単な事務室を用ひ其室の中央に卓を一行に並べ、その兩側に椅子を置いてある。集る者は大抵年少成人で、先づ十七八歳から二十三歳位までの者である。彼等はすべて熱心で、伶俐で、中々元氣である。着物は皆簡單なものを着てゐるから、外觀だけでは如何なる階級に屬するものであるか分らない。その着物は大抵家庭でこしらへた質素なものである。尤も夜間課程に出る者は中産階級の者か労働階級のか明瞭に分る。

指導教師は、中央の椅子に席を占めて教へるのであるが、これも教師か生徒か區別がつかない

い様な様子をしてゐる。お互同志の間では敬語は用ひない。男子に對しては姓を呼び女子に對しては名を呼んでゐる。その一團の中には一人發言者を定めて置いて、それがその夜の討論の題を出すのである。其の論題は

「新しい記念碑を立てることの可否」

「古き記念碑を破壊してその石で家を建てたらどんなものであるか」

と云つた風なものであつたがこれに就て各自夫々意見を闘し、討論はすばらしく元氣があつた。或る一人の若い共產主義者は「現在の不必要な記念碑は一切之を破壊すべく、又新に記念碑を立てることは不用である。赤貧な獨逸には藝術家はいらない、「單に美の爲めに」と云ふ様な人を容るゝ餘地がない、藝術家は須らく商賈を學ぶが良い」と云ふ様なことを云ふ。すると他の一人は「然らば何故君はその様な立派な青い上衣を着、飾のある帯をして居るか」と反駁する。そこで指導教師は懇切に記念碑と云ふ様なものゝ或形式の使命を説き聞かせ、更に戦勝とか云ふ様な種類の記念碑の不必要を述べると云ふ風に諄々として導くのである。此討論は友情が籠つて居るが、中々熱が有て、常に相互の諒解を求めて行かうと努めるのである。斯くて

此學級には「同儕」としての氣持の満足、一團と成て求める悦、而て人生の目的に就ての共通の意識の満足が明に觀取せらるゝのである。彼等の態度は非常に眞面目で決して遊び半分と云ふ様なものではない。尙ほ指導教師の素養次第で經濟學、哲學、文學等の或特定の方面を組織立って學習して行く様なこともある。

二、年長成人男女の團體

次に成人勞働者の方の景況はと見ると、彼等は熱心にノートを探る。空の眞中に指導教師の机があり、生徒はそれを中心として集つて居た。講義の題目は、例へば「獨逸語、その讀み方書き方、及發表の仕方」と云ふ様な風で、此の組の生徒は日々の生活に疲れて頗る活氣のない様な風ではあつたが、併し何物かを求め學び知らうといふ風があり／＼と見えた。教師は老巧なもので、課題に就て語り出すと、急に生徒の心を促へてしまふ。生徒は教師に勵まされて、此問題に關し自分の經驗した事柄を熱心に話し出す。その有様は如何にも熱あり氣あり看る人をして感慨に堪へざるものあらしめた。彼等は如何にも斯る教育を受ける様になつたことを悦び入つて居る風である。斯くて之等一團の人々はその教科を了つたとき、自分は他の人々の知

り得ない事を知ることが出来たと云ふ信念を有つ様になり、或人は亦斯くて學んだことをば自分の日々の職業に持ち込んで、更にそれを體驗し了解せんとする。斯くて從來は自分は生産のための機械の一部分位な考で日々の職業を働らいて來た者が、茲に人間としての立派な自覺が出来、仕事は自分がするのであり、自分の同僚の爲めになすのであると云ふ考へになる。

サクソニー民衆大學

サクソニーにては六地區に民衆大學の中樞があつて、各中樞より代表者を選擧してサクソニー民衆大學協會を組織しそれから選擧された六人の人々が定期に會合して民衆大學事業の計畫を立て、様々の事項を討議する。又此協會から毎年代表者としての議長を選擧しサクソニー國文部省の成人教育課と常に連絡を圖ることになつて居る。

サクソニー文部省の成人教育課には民衆大學より選擧された監督が居つて、各民衆大學と力を戮せ、民衆大學に關する研究調査をなし、國中一般に涉つて斯道の發展を計り、又學生のための時間表を作つたり指導教師のため講習をなし、自身亦指導教師として教鞭を執ることもある。

サクソニーの民衆大學は地方自治體から補助金を受けてゐるがこれがため自治體から何等拘束を受けるやうなことはない。民衆大學は飽く迄でデモクラチックな自治組織で、學生側、教師側から代表者を出し、それが實行委員となつて學校の管理、學科課程の組織をやる。民衆大學の遣り方は所謂協同研究である。講義と討議を並び行ふものである。従つて一組三十人位を限りとして居る。

サクソニー民衆大學では特に藝術を重大視し、その特別な位置を認めて居る。蓋し藝術を以て人生の意義を加ふる手段として民衆の教育には特に重要な方面を代表するものと認めるからである。その他競技、談話等に於て社會精神の修練に努めて居る。

サクソニー六地方に於ける民衆大學の數は九十に垂んとし、その中の三分の一は、その程度が高く他の三分の一は民衆大學と名は冠しても程度は極めて低いものであり、それ以外の三分の一は更に劣つたものゝ様である。

サクソニーの民衆大學の中樞として特に注目すべきものは二つある。それはドレスデンとライプチツヒである。サクソニーの首府ドレスデンには同國の文部省があり、茲に民衆大學が一

つある。ところがドレスデンには大學がないので、その民衆大學の校長も教師も皆中學校の教師である。

ドレスデンの民衆大學は協會組織で、その會員が毎年一定の金を出して之を維持して行くのであるが、その會員は生徒であるのもあり、さうでないものもある。

學科課程としては

科 學

哲 學

歴 史

社會科學

獨逸語

文 學

藝 術

音 樂

衛生 これには體操を含む

ライプツヒの民衆大學は一九二二年新校長の下に改編せられ、堅實に發達しつつある。これはライプツヒ市並に大學の支持するところで、伯林 遺口を學んで居る。即ち助言委員會があつて、それには労働者代表も出て居る。ライプツヒには多數の労働者が居つて、それが民衆大學に出席しつつあることは著しき特色である。

學科課程としては

數 學

經濟學

自然科學

衛 生

文 學

民 踊

等である。

尙ほライプツヒの諸工場に於てはその職工の爲めに特別研究科目が開かれて居る。例へば金屬工に對しては「金屬の起原及び用法」印刷工に對しては「書籍とその文化的價值」と云ふ様なものである。

更にライプツヒには「労働者經濟學校」がある。これはフランクフルトの「フランクフルト労働者學院」に似たものである。

フランクフルトの民衆大學

フランクフルトに於ける主要なる成人教育中樞は「フランクフルト民衆教育協會」である。此事業は伯林のフムボルト學院フムボルトと殆んど同時代に始められ、古い歴史がある。

フランクフルト民衆教育協會の事業中には、新時代の要求に應ずるため共同研究主義の教育も取り入れられてある。然しその根本に於ては寧ろ古い型の教育方法を墨守し、非常に多數の聽衆を一堂に集めて講義する遣り口で、その宏大なる民衆會館フランクフルトを誇として居る。

フランクフルトには右の外數個の小規模の成人教育機關がある。例へば天主教主義のカソリ

ツク民衆大學、猶太文化の研究を主とする猶太民衆大學等がある。フランクフルト労働學院は一九一九年に創立され、大學に附屬して居る。尙ほその他社會科學研究所があるがこれは大學とは關係がない。

ダルムスタットの民衆大學

ダルムスタットはヘッセンの首府でこゝにヘッセンの文部省がある。こゝには非常に整備した民衆大學があつて、特に經濟學の研究に力を注いで居る。

その目的とするところは

- 一、判斷力、辯別力を活動さすことによつて論理的思想を發達せしめ
 - 二、同僚として同朋としての精神を養ふ
- ことに在る。而てその方法として
- 一、クラス組織を以て獨逸語その他の初等教育を施し、これを準備課程となす
 - 二、更に深き研究をなさしめるために協同作業的教育をなし、講義の後で討論が行はれる。

ダルムスタットには大學がないので大學の協力と云ふことはないが、その指導教師の多くはフランクフルト大學關係の人々である。財政は困難な状態に在るが、民衆大學會の支持を受けて居る。學生の六十九パーセントは労働者である。尙學生のために通俗演奏會、繪畫展覽會、旅行、夏季講習等が催される。

ヴュルテンブルグの民衆大學

スツットガルトは、その新成人教育運動に民衆大學の名を冠せざるところに特色がある。一九一八年ヴュルテンブルグに民衆教育協會が設けられ、その本部はスツットガルト市に置かれた。所謂民衆大學は此協會の事業の一部にすぎない。此協會の會長は生來の適任者で、その事業に一生を捧げて居る。その努力により僅々四年間に成し遂げた業績は非常なものである。此協會はその事業を成人教育と稱し、所謂民衆大學としての當然の範圍よりも、遙かに廣汎なる事業を目的としつゝある。本協會の會長は「現代の文明は皮相で墮落して居る。これを改善するにはその根本に就て更に／＼考慮を要す。社會を眞に善導するには成人教育に若くものはな

い。蓋し成人に於て始めて人生の新しき要求を創造し得べく、斯の如き要求有つて始めて教育も可能と云ふものであるからである。成人教育の目的は個性の發達、而て社會全體に奉仕する様な人格の發展と云ふことでなければならぬ。人は夫々自分の裏に在る力を發展させることがその生來の權利に屬す、之を可能ならしめる様教育せられなければならぬ。男女少年は小學校を卒業すると青年民衆大學が自分達を待ち受けつゝあるを發見するであらう。此青年民衆大學こそ小學校と成人學校を聯絡する橋梁でなければならぬ。」と高唱し又婦人市民の開發に非常に力を注いで居る。

此協會には多くの分科があり、夫々完全に自由な行動を許されて居る。スツットガルトに在る協會本部の分科は左の如くである。

- 一、家庭部
- 二、音楽部
- 三、圖書館部
- 四、繪畫部

- 五、藝術部
- 六、地方部
- 七、印刷部
- 八、民衆劇場部
- 九、フォルクスホーホシユール

此協會の組織、財政、活動は他に類例のないものである。各部夫々自家に財的援助を興へ得る様な他の團體と聯合して事業を營む。局外の團體は此協會又はその中の各部の仕事が社會的に有益なりと認めればこれと聯合し援助する。例へば家庭部は國家、市並本協會の協力に根拠するもので、云はゞ有限責任會社の様なものである。即ち國家及市は協會の家庭部の事業が責任ある市民の養成と云ふ點に於て教育的價值ありと認めるので、之に資金を給し、事業遂行の方法は協會に一任したと云ふ姿である。

今各部の事業を列挙すれば、例へば

- 一、印刷部 小新聞の發刊

これは普通の新聞と共に大なる範囲に行き涉つて居る。新聞社では又廣告になる様な小冊子の發刊を悦んで居るのでその出版費を負擔しつゝある。

- 二、音楽部 音楽學校を設立し、多數の生徒を收容しつゝある。
- 三、圖書館部 ウオルター、ホフマン氏案に依り圖書館を經營す。
- 四、繪畫部 藝術品の複製、幻燈種板等の製作をなし、その收益を成人教育に費す。此幻燈種板は國中に頒布されて民衆教育の資料に用ゐられつゝある。
- 五、家庭部 毎年のカレンダーを發刊す。

本協會に對し勞働者側はその特務者教育施設を援助せんが爲めに握手して茲にスツツトガルト民衆大學の設立となり、今や三、〇〇〇人の學生を包容しつゝある。此民衆大學の目的とするところは「社會全體の福祉のために個性を深めること」である。

以上各種の事業は協會の管轄の下に屬し、その經營宜しく今日の盛況を見たのは實に會長の人格と手腕によるものである。ヴェルテンプルグの成人教育は文化の諸相に多大の影響を及ぼし、獨逸の成人教育運動中特異なる光彩を放ちつゝある。特にその會長、副會長、教師、學生

間に存する温い同朋的の空氣は著しき特色である。

五 民衆大學園

獨逸にはフォルクスホーホシユールハイムと稱する定設の民衆大學園がある。夜學の民衆大學で數年かゝることを茲では二三ヶ月で學習せしめる様に計劃されて居る。即ち一團の生徒を集めて二三ヶ月間團體的研究を行はせ、團體的生活を營ましめるもので、斯種生活の空氣は遙に教育的であり、且つ生徒が外部の影響に累せられずに、心を集中して學習し、實際の經驗をなし得るのである。

生徒が此大學に入るには一時その職を離れてやつて来る。學校が濟めば更に豊富にされた知識（これは精神的な目的で與へられたものである）を抱懷して各自の職業に歸る。斯くて發達し洗練されたその人の人格は、その他の人々に多大の影響と感化を與へ、皆その人に學ぶ様になるのである。

此大學に於ける團體生活は非常に教育的に効果が多く、之等の大學は入學せしめる人員を制

限するところから、相互協和の根柢が培はれ、それが大學の事業の根幹となる。この民衆大學の主なるものにつき少しく紹介して見やう。

組織及び特色

一、大戦前の民衆大學園

これは丁抹の國民高等學校を模したもので、主としてシュレスヴィヒ・ホルシュタインに在るもので、モールキルヒ、チングレツフ、ノルンブルグ、ルンデン等

二、大戦後の民衆大學園

之また丁抹の國民高等學校に模したもので、シュレスヴィヒ・ホルシュタインのレツク、レンズブルグ等。

三、特別な傾向を有する民衆大學園

イ、ゲラに近きティンツ——社會主義に基く

ロ、ノイデイトンドルフ——チューリンゲンの農夫のために設けたるもの

ハ、ヘツセンのリツヘローデ——家庭的

ニ、ラステンブルグに近きカールスホーフ——同上

ホ、ピールフェルトに近きリンデンホーフ——宗教的

ヘ、ヘツセンのハンス、アーゼル——愛國的

四、一般倫理的目的を有する民衆大學園

イ、オルデンブルグのドライベルゲン(女子)

ロ、同 上ヴァンゲローグ

ハ、マイニンゲンに近きドライシングアツケル(青年男子)

ニ、ヴユルテンブルグのデンケンドルフ(少女)

ホ、ラインランドのオルゼー(少女)

ヘ、ラットラール(農民のため)

ト、カツセルに近きトレイザ

チ、ベルリンに近きヴィルヘルムスハウゼン——之は伯林の社會殖民館との協力

ス、ヘッセンのダルムシュタットに近きヒュルステンラーゲル
尙ほその主なるものにつき學科課程等を掲げて参考に資することとする。

一、チンツの民衆大學園

これは元來ロイス公の夏季別荘に行はれた關係よりロイスの民衆大學とも稱せられてゐる。
現在勞働組合の經營に屬し社會主義の民衆大學である。

その學科課程は社會主義、公民科、科學、歴史、獨逸語、文化的藝術的趣味等である。

二、ドライシングアツケル民衆大學園

チューリンゲンの民衆大學の一部で、年少成人のために開かれたものである。四ヶ月半の課程で、生徒をして自己の判斷に倚るだけの確信を得しめることを目的とする。

方法としては開卓式の討論を行はしめ、その校長や教師は何れも特に資格のある有名な人で、之等の人々は此學校で自分達のやつたことを記録してパンフレットを發行して居る。

三、リントンホーフの民衆大學園

ボーデルシュヴィング氏の創立したものである。氏は病者や老人のためにホームを設け癩病

病者のために田園を營むなど篤志家として知られて居る。氏は一九一九年に丁抹の國民高等學校に模して、民衆大學園を創設し、十五才から三十才までの農民男女を收容してゐる。この學校は基督教主義で社會奉仕的精神が盛んである。その生活は單純を旨としてゐる。夏は女子を收容し主として家政に關する知識を與へ、冬は男子を收容して農事に關する教育を施しつつある。

四、カールスホーフの民衆大學園

知力よりも情に訴へて品性の陶冶を主とすると云ふ。學問の學校ではなくて、人生の學校である。その學科課程としては基督教道德の研究を主とし、その他公民科、獨逸語、文學、衛生、體操、手作業等である。

五、ルーデンスブルグの民衆大學園

この學校は二様の意味で有名である。その一は丁抹領となりし今日尙ほ獨逸國と接觸し續けたいと云ふ希望を有つ丁抹人に依て設けられた獨逸文化中心の學校なること、その二は學生相互教育し合ふと云ふ制度を採りつつあることである。

六、デンケンズドルクの民衆大衆園

これは女子を收容する學校で夏は都市のもの冬は農村のものを收容す。奉仕を尊び、同朋精神の涵養に努む。

七、ヒルステンラーゲルの民衆大衆園

校舎としては前のヘツセン、ダルムシュタット公の夏別荘を用ゐつゝある。

六 統 計

一、バーデンフレブルク

	就學生徒	就學勞働者	女生徒	初等教育を受けただけの者
一九一九	二〇人	二〇人	五%	
一九二〇	七五〇人	二五〇人	四〇%	四八%

勞働者は主とし科學、數學、哲學等に出席し、又經濟學、社會科學を好み、女生徒は主として文學を修む。

二、イエーナ

就學總數	男子	女子
一九二二年	一、四〇五人	六四三人
内 譯		七六四人

- 勞働者 三八六人
- 事務員、官吏等 三三七人
- 教員、大學生 一九三人
- 其他 一二九人

勞働者は主としてその職業に關するものを選び、隨つて多く科學、産業史等に出席し、且つ教授法、衛生、獨逸語、唱歌等を學ぶ。尙は年少成人生徒は主として勞働階級の者である。

年 一九二二年

就學者中初等教育を受けたのみのもの

五八%

手工業者

四〇%

事務員、官公吏

三五%

教員その他

一二%

ライプツヒには年少成人團があつて、主として労働者階級のものである。

四、ドレスデン

就學總數

労働者

事務員その他

教員學生

一九一九年 三、九五八人

一三%

四四%

一五%

一九二二年 四、〇九〇人

二八%

四四%

八%

次 號 豫 告

第十七號

(十一月五日發行)

勞 農 ロ シ ア の 教 育

社會教育協會調查部

311
125

規 定

目的 本會は社會教育の發達普及を圖るを目的とし、特に青少年男女の教養指導に資せんことを期す

事務所 本會は事務所を東京市小石川區白山御殿町百二十七番地に置く

會員 どなたでも本會の趣旨を賛成し入會して下さるのを歡迎いたします

入會 入會書はハガキに住所、氏名、業務及び年月日を記し調印の上本會へ出して下さい

會費 會費は一ヶ月五十錢、半ヶ年三圓、一ヶ年六圓とし總て前金のこと、但し入會の時は半ヶ年分以上御拂込を願ふ

特典 會員には社會教育パンフレットを毎號無代で配布します

會員の求めに應じ講演會、展覽會の幹旋及び社會教育に關する諸般の調査をいたします

大正十五年十月十八日 刷印
大正十五年十二月二日 行發

社會教育パンフレット

小松 小 人行發編輯
東京市小石川區白山御殿町七廿番地
上村 新 人 調 印
東京市本區藤原町二丁目三日番地
上村 刷 所 刷 印
東京市本區藤原町二丁目三日番地
財團法人社會教育協會
東京市小石川區白山御殿町七廿番地
電話 九〇五七 小石川
電話 三八一二 東京市本區

會員に限り無代頒布す

第一輯 中等學校生徒思想調査
第二輯 青少年と活動寫眞
第三輯 入學試驗に關する調査
第四輯 中等學校生徒思想調査批判
第五輯 社會教育ボスター集
第六輯 不良少年に關する調査
第七輯 職業婦人に關する調査
第八輯 體育運動團體に關する調査
第九輯 宗教類似團體調査
第十輯 青年訓練團體調査
第十一輯 勤儉獎勵に關する施設
第十二輯 壯丁の教育程度調査
第十三輯 米國の經濟的優越
第十四輯 勤勞學校とはどんなものか
第十五輯 知識階級の失業問題
第十六輯 獨逸の成人教育運動

會員に限り無代頒布す

(特輯號)

(特輯號)

文部省普通學務局
東大助教授 青木誠四郎
文部省學校衛生課
文部省教育談話會
社會省普通學務局
文部省普通學務局
內務省普通學務局
文部省學校衛生課
社會教育協會調查部
文部省普通學務局
內務省普通學務局
文部省普通學務局
內務省普通學務局
文部省普通學務局
內務省普通學務局
文部省普通學務局
守屋實業學務局長
武部實業學務局長

終

